



- 総務委員会
- 文教・建設委員会
- 健康福祉委員会
- 市民生活委員会

本市議会では、委員会ごとに「年間活動テーマ」を決めて、調査研究を行っています。今定例会初日には、開会中に各委員会が実施した先進地への視察について、各委員長から報告がありました。ここではその概要をお伝えします。

## 総務常任委員会

### 防災にもDX<sup>※</sup>の推進を

#### <愛媛県松山市>

松山市は、「全世代型防災教育」として、全ての世代における防災リーダーの育成に取り組んでいます。また、「松山逃げ遅れゼロプロジェクト」として、全ての中学1年生がマイタイムラインを作成する取り組みをしているほか、デジタル版タイムラインを作成・共有できるアプリを運用しています。検証の結果、地域や民間企業などの横の連携がしっかりしており、まち全体の防災意識が高いと感じたなどの意見が出ました。



5月16日松山市役所にて

#### <愛媛県宇和島市>

宇和島市はアプリ開発に力を入れており、スマートフォンのGPS機能と連動した避難行動の支援機能など、災害発生時に利用できる様々な機能があるほか、「防災学習機能」などの平時でも活用できる機能も備えています。検証の結果、宇和島市は防災ラジオの全戸配布、アプリの活用などを進めており、情報伝達手段が充実していることは市民の安心にもつながるのではないかなどの意見が出ました。



5月17日宇和島市役所にて

## 文教・建設常任委員会

### 先進校の防犯対策を学んで

#### <関西大学初等部>

関西大学初等部は、平成22年に設立された小学校です。設立からまだ日が浅く、建物の扉のオートロック、多数の防犯カメラや非常用ブザーの設置など、先進の設備が備え付けられていました。検証の結果、教頭先生から教えていただいた「入ろうと思わせない、入らせない、入られたときの対処」という3つの観点から防犯体制強化の検討を進めるべきとの意見が出ました。



5月9日関西大学初等部にて

#### <大阪教育大学附属池田小学校>

大阪教育大学附属池田小学校では、かつての不審者による事件の教訓から、綿密な検証のうえ、ハードとソフトの両面で防犯対策が徹底されてきました。また、附属池田小では、今でも毎年、不審者の侵入を想定した実践的な訓練が行われています。検証の結果、附属池田小と比較して、本市の学校の防犯体制に足りていないところを洗い出し、できるところから補っていくべきではないかとの意見が出ました。



5月10日大阪教育大学附属池田小学校にて

## 健康福祉常任委員会

### 部局を横断した連携が重要

#### <東京都日野市>

日野市では、「発達支援」における福祉分野と教育分野が一体となった切れ目のない総合的な相談や支援が行われています。また、ゼロ歳から18歳までの発達面、行動面、学校生活面において支援を必要とする子供や、子供の育ちについて不安のある保護者、関係機関に対して、継続したサポートが行われています。来年度には、子ども包括支援センターが開設予定であり、さらに切れ目のない支援が行われることが期待されています。

#### <埼玉県さいたま市>



5月2日日野市発達・教育支援センターエール内、感覚統合指導室

さいたま市の「ヤングケアラー支援」について、令和4年7月1日に、「さいたま市ケアラー支援条例」が施行されています。取り組みとして、ヤングケアラー訪問支援事業、ヤングケアラー支援に関する研修会、相談窓口の周知が行われています。また、さいたま市社会福祉事業団が管理運営を行っている児童センターにおいてもヤングケアラー支援が行われていました。



5月15日さいたま市岩槻児童センターにて

## 市民生活常任委員会

### 町会・自治会の負担軽減にデジタル化の推進を

#### <東京都町田市>

町田市では、町内会・自治会の支援として、自治会専用アプリ「いちのいち」を活用したデジタル化の推進に取り組んでいます。アプリを活用することにより、市から配信する情報をデジタル化し、閲覧物の仕分けや配布をなくすことで役員の負担軽減が図られているほか、一斉配信により、情報伝達に時差がなく、電子データとして保管できるため、好きなときに好きな情報を閲覧することができます。また、町内会・自治会未加入者に向けても町内会情報やPR情報を発信することで、加入促進も図られています。加入率の低下や役員の成り手不足などの課題がある中で、負担軽減や加入促進に寄与するツールとして、町会・自治会のデジタル化が期待されます。



5月17日町田市役所にて